



進路だより

平成29年11月18日

第7号

岡山県立岡山支援学校進路指導係

HPアドレス <http://www.okasien.okayama-c.ed.jp/okayyo.htm>

人は誰でも家庭や職場、地域社会など様々な場所で自分の役割を果たし、自分らしく社会に参加しています。本校の児童生徒も、いろいろな人とかかわり合いの中で、周りの社会に興味を広げ、将来につながる力を積み重ねていっています。

今号では、小学部での「キャリア教育」の取り組みをご紹介します。

★お手伝い（小学部2年生）

給食を食べた後に、大きな飯釜をワゴンに乗せて、食堂まで返すお手伝いに取り組んでいます。学年の先生から、「助かったよ。ありがとう。上手だね。」と言葉を掛けてもらい、感謝される喜びを味わうことができます。また、飯釜運びのお手伝いを始めたことで、中学部・高等部の先生からも「頑張っているね。」と声を掛けてもらう機会が増え、学部を超えて応援してもらい、活動の励みになっています。



★お手伝い（小学部4年生）

昼休みの時間等に、教室掃除に取り組んでいます。自分でスイッチを入れて掃除機を動かしたり、ほうきで床を掃いたり道具の使い方も練習中です。学年の先生から、「きれいになって、嬉しいな。」「ありがとう。」という言葉の掛けをもらって嬉しそうに、活動の励みになっています。掃除が終わったら、掃除機の電源を切ったりほうきをしまったりと、道具の片付けもしています。



★あいさつ（小学部6年生）



かすかにほほえんで、目と目を合わせて、手に触れて、ハイタッチで、頬に触れてもらって…それぞれの方法であいさつをします。一人一人の存在を認め合うことで、自己肯定感が高まり、安心して学校生活を送ることができます。

小学部では、上記のように「お手伝いをして、周りの人に喜んでもらったり、感謝されたりする経験をする」「あいさつをする」「身の回りのことを自分でする」「自分の気持ちを表す」「感謝の気持ちを伝える」「様々な人とかかわる」「係や当番活動などで自分の役割を果たす」などに継続して取り組んでいます。

今回はごく一部の取り組みを紹介しました。将来の豊かな生活をイメージしながら、様々な場面において継続して取り組み、積み重ねていくことが大切だと考えています。